



「ウチ店」のサイト＝岐阜商工会議所提供

補助金新設、紹介サイトも

こうした「テイクアウト」の流れを後押しする試みも始まった。

瑞穂市は市内で飲食店を営む中小企業・小規模事業者向けに、テイクアウトや宅配への参入に対する補助金を新設した。1店あたり上限7万円で容器やはしの購入費などに充てることができる。市内統一のPR用ののぼりは、飲食店に無料で配る。問い合わせは市商工農政観光課(058・327・2103)。

岐阜商工会議所と柳津町商工会、岐阜市も、テイクアウトができる岐阜市内の飲食店を紹介するサイト

「ウチ店」を20日に立ち上げた。店の地図やメニューを検索できる。弁当やピザなどを扱う和洋中の27店が掲載されており、さらに参加店を募る。問い合わせは岐阜商工会議所(058・264・2131)。

飛騨市が10日から販売している市独自のプレミアム食事券も、テイクアウトや宅配でも利用できる。20日現在、市内の飲食店62店舗で使える。

食事券(1冊額面6千円)を5千円で販売。発売から1週間で約2300冊が売れたという。使える店舗は市のホームページに一覧を掲載している。

(山下周平)